

高校生ものづくりアイデアコンテスト応募要項

1 目的

この事業は、高校生を対象として、柔軟な発想による作品またはアイデアを募集、表彰することにより、ものづくりについて考え、発表する機会を与え、将来のものづくり技術を支える探究心や、創造性に富んだ地域産業の担い手を育成することを目的とします。

2 募集対象

個人、グループ、クラブなどで考えた独自のアイデア。

(1) ものづくり部門

- ・こんなものがあったら便利と思われるものについて作品を作製してください。
- ・作品の写真を添付してください。

(2) アイデア部門

- ・東三河地域の工芸・技能から着想を得て、新しい地域の工芸・技能につながるアイデアを応募してください。
- ・作品は必要ありませんが実現性の高さも評価のポイントとなります。
- ・工芸の具体例として、豊橋筆など東三河地域の伝統的工芸品から着想を得た新しいアイデア。
- ・技能の具体例として、一級技能士の技（参考：とよはしの匠）、東三河の特産品加工（例：農林水産物の加工）、地場産業の技（例：織物技術）などから着想を得た新しいアイデア。

3 賞金

各部門の入賞者には賞状および以下の賞金が授与されます。

ものづくり部門		
最優秀賞	最大1点	10万円
優秀賞	最大1点	5万円
入選	最大1点	2万円
奨励賞	最大2点	———

アイデア部門		
最優秀賞	最大1点	2万円
優秀賞	最大1点	1万円
入選	最大1点	5千円
奨励賞	最大2点	———

4 応募要件

- (1) 東三河地域に在学する高校生の個人またはグループ、クラブ等。
- (2) 独自のアイデアであること。すでに市場等に存在している場合は、審査の対象となりませんので、必ず事前に確認ください。ただし、令和7年9月17日（水）以降に発表したものは応募可能です。
- (3) 個人またはグループ、クラブ等で複数の応募をすることも自由。ただし、同一年度内に応募したアイデアにより作製した作品をものづくり部門に応募することはできません。

5 審査

選考委員会にて各部門、新規性・独創性・技術性（ものづくり部門のみ）・実現性・市場性を主たるポイントに、書類審査（一次審査）で各部門5点を選出し、ものづくり部門7分・アイデア部門3分以内の応募者本人によるプレゼンテーション（二次審査・令和8年11月14日（土）を予定）により審査します。

6 表彰

入賞者決定後、令和8年11月14日（土）に市役所で表彰する予定です。

7 応募方法

（1）提出書類

所定の「応募用紙（様式第1、2）」に必要事項を記入して「別紙」を表紙として提出すること。

① 提出部数は部門ごとに1部です。

② 応募用紙は豊橋市のホームページからもダウンロード（ワード形式・PDF形式）できます。

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/7303.htm>

（2）提出方法

応募用紙は、郵送、FAX、E-mail等で学校ごとに取りまとめて、とりまとめ書をつけて提出してください。

※E-mailで提出する場合には、ワード形式のファイルで添付ファイルとして提出してください。

（3）応募締め切り

令和8年9月11日（金）必着

（4）提出先

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

豊橋市産業部商工業振興課 担当 白井

電話：0532-51-2435

FAX：0532-55-9090

E-mail：shoko-shinsei@city.toyohashi.lg.jp

8 留意事項

（1）選考後の提出書類は返却しません。

（2）審査結果は入賞以上の場合、書面で通知します。

（3）入賞作品・アイデアについては、応募者氏名、所属学校名、応募者顔写真、作品・アイデアの内容等を豊橋市のホームページ等で公開します。

（4）応募資格等に違反する事項、その他不正があった場合には、審査対象外あるいは受賞取消とする場合があります。

（5）本事業に応募することで、特許権を獲得することが困難となる場合があります。

（6）プレゼンテーション審査（二次審査）及び表彰式に参加される方の旅費等は、参加者各自でご負担ください。

高校生ものづくりアイデアコンテスト応募用紙

年 月 日

応募部門（該当する方に○）	アイデア部門	・	ものづくり部門
(ふりがな) 応募者氏名 (グループの場合は代表者名)		【グループの場合のみ記入】(別紙様式 1-2 に補充) 左記応募者 他 名	
学校名・所属	学科	学年	

提 案 書

<p>提案するアイデア・作品が市場にないか調査しましたか？ (方法例：インターネットで検索した、店舗で探した、など)</p> <p><input type="checkbox"/> 調査しました (方法：)</p>
<p>アイデア部門において、基になった工芸^{※1}・技能^{※2}の具体的な名称または内容を記入してください。</p> <p>※1 工芸とは熟練の技能を駆使して作られた実用性と美術的価値を兼ね備えた製品 [具体的な名称(例)] 豊橋筆、田原凧、三河張子、三河木綿、鳳来寺硯など</p> <p>※2 技能とは「とよはしの匠」等で認定された長年の経験や修行によって身につく特別な技や能力 [具体的な内容(例)] 一級技能士の技(練り製品の製造)、特産品加工の技(三河材の加工)、地場産業の技(織物技術)など</p>
<p>1. 提案名</p>
<p>2. 提案の内容 (ターゲット、目的、イメージ図、利用方法などを具体的に。)</p> <p style="text-align: right;">※ 枠が小さい場合は、適宜広げてください。</p>

アイデア部門の場合は様式第 2 - 1、ものづくり部門の場合は様式第 2 - 2 に続きます。

様式第 1 - 2

グループで応募する場合の構成員

(グループで応募する場合のみ記入・提出してください。記入欄が足りない場合はコピーして使ってください。クラブ等で応募する場合は、団体名だけで結構です。)

代表者を除く応募者氏名	所属、学科、学年等
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	
(ふりがな)	
氏 名	

様式第2-1 (アイデア部門) 提案書続き

3. 提案を考えた背景・動機 (なぜ、この提案をやりたいと考えたか。)

4. 提案ポイント

A. 新規性、独創性 (この提案の何が新しいか、特徴は何かなど。)

B. 実現性・市場性 (アイデアは実現する可能性があるか、どのように工夫したらアイデアは商品化できるかなど)

C. 審査員にアピールしたい点

様式第 2 - 2 (ものづくり部門) 提案書続き

3. 提案を考えた背景・動機 (なぜ、この提案をやりたいと考えたか。)

4. 提案ポイント

A. 新規性、独創性 (この提案の何が新しいか、特徴は何かなど。)

B. 技術性 (技術的にどこが優れているか、どんな工夫や勉強をしたか、また、どんな技術を使ったかなど。)

C. 実現性・市場性 (アイデアは実現する可能性があるか、どのように工夫したらアイデアは商品化できるかなど)

D. 審査員にアピールしたい点